

京丹後市立図書館

2026年度

おすすめの本

低学年
1・2年生向き

『おどりたいの』（BL出版）

豊福 まきこ/作



もり森のはずれでバレエに出会った、まっ白な子うさぎ。一目で優雅な世界に引き込まれたうさぎは、勇気をだして扉をたたきます。先生は優しく迎えてくれて、やがて…。知らない世界に飛び込む勇気を、後押ししてくれる絵本。

『かみさま、いっしょうのおねがい!』（国土社）

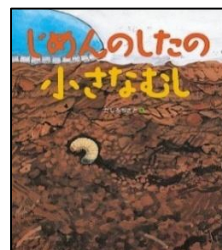
とい よしひこ/作



ちこくだ、ちこくだ。かみさま、いっしょうのおねがい。どうか学校に間に合いますように! だけど、かんだの1日はツイていない。かみさまはなかなかおねがいを聞いてくれない。そんなかんだが、心からねがったことは…。

『じめんのしたの小さなむし』（福音館書店）

たしろ ちさと/作



お落ち葉が積もった地面の下で眠っていた小さな卵から生まれた、むしの赤ちゃん。ある日、むしは人間の子に掘り上げられて植木鉢の土の中に入れられてしまいました。しかし、むしは底の穴から地面の下へ逃げ出し…。

『つき ちきゅうの いちばんの ともたち』（小学館）

ステイシー・マカナルティー/原作 スティービー・ルイス/絵
千葉 茂樹/訳 渡部 潤一/監修



みんな、空を見て。地球のいちばんの友だちといえば、そう、わたし、月! 地球と月との密接で不思議な関係を、月本人がわかりやすく語る宇宙科学絵本。自分で考えるを育みます。

『まほうのかさ』（教育画劇）



小沢 正/文 はた こうしろう/絵

はし 走ることが得意でないいちろうは、たいいく たいきら 体育が大嫌い。ある夜、夢の中に出てきた魔法の女の子が、好きな時に雨を降らせることができる赤いかさをくれた。翌朝、そのかさを開くと、本当に雨が降ってきて…。

『さかなだってねむるんです』（ポプラ社）

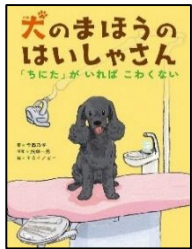
伊藤 勝敏/写真 嶋田 泰子/文 瀬能 宏/監修



からだの色を変えたり、砂にもぐったり、イソギンチャクに隠れたり、すきまにもぐりこんだり…。あんしん ねむ 安心して眠るためには、作戦が大事です。魚たちがどこで、どんなふう ねむ 風に眠っているかを、写真で紹介しします。

『犬の まほうの はいしゃさん 「ちにた」がいればこわくない!』（ポプラ社）

今西 乃子/著 浜田 一男/写真 サカイ ノビー/絵



はいしゃ 歯医者さんで働く犬の「ちにた」は、子どもが来院すると「こわくないよ」と話しかけます。子どもがちにたを撫でている間に治療をするのぶえ先生。いつの間にか治療が終わり…。実在のセラピードッグの活躍を描いたお話。

『きみひろくん』（くもん出版）



いとう みく/作 中田 いくみ/絵

スポーツも勉強もできて、みんなから好かれるきみひろくん。だけどきみひろくんには「ぼくにだけうそをつく」という、ちょっと困ったところがあって…。「友だち」や「家族」について考えるきっかけとなる物のがたり話。

『まねをしました』（文研出版）



すず きみえ/作 下平 けーすけ/絵

図工の時間、遠足で行った水族館の絵を描くことになった。描くものを決められないゆうまは、ハルトがサメの絵を描いているのを見た。「ハルトくんのサメ、かっこいい!」と思ったゆうまは、ハルトのまねをしてサメを描くが…。

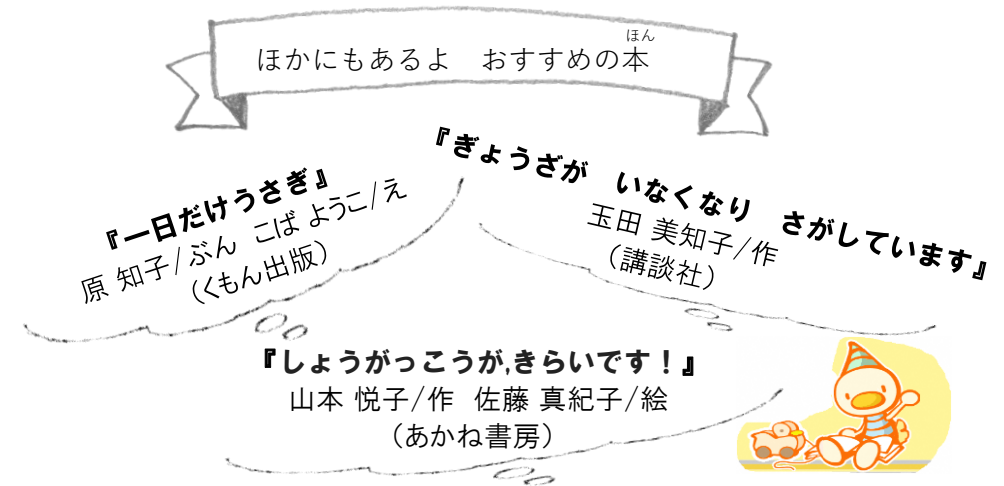
『山の学校 キツネのとしょいいん』（講談社）

葦原 かも/さく 高橋 和枝/え



図書委員は貸出カードについているバーコードを、ピッと読み取ります。ある日キツネの子が「ピッ」をやってみたくてやってきて…。山のふもとの小学校の図書館司書のかえでさんと子どもたちとキツネの子のこころあたたかなし心温まるお話。

無断での複写・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。



か だ ちゅう ほん よやく 貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください